

公益財団法人 京都市国際交流協会

名称	公益財団法人 京都市国際交流協会	
英文名	KYOTO CITY INTERNATIONAL FOUNDATION	
代表者	理事長 千 玄室	
所在地・連絡先	京都府京都市左京区粟田口鳥居町2-1	
設立年月／地域国際化協会認定年月	1989年1月18日／1990年1月23日	
基本財産／年間予算額	100,000千円／300,540千円	
会員制度	なし	
役員数／職員数	20人(常勤1名)／20人(一般11人、嘱託7人、臨時2人)	
国際交流施設の概要	京都市国際交流会館	京都市所有、敷地面積10,373.73㎡、床面積6,970.92㎡、1989年8月設置、(指定管理者に指定)
民間国際交流団体とのネットワーク	kokoka国際交流団体ねっと(92団体)	
定期刊行物	LIFE IN KYOTO	
主な出版物	京都市生活ガイドブック 京都市生活地図 アジアの風文庫	
平成27年度 主要事業	①インターネットによる情報受発信事業 (予算=662千円)	インターネット上の当協会ホームページより協会事業の案内や実施報告、会館紹介及び国際交流に関する各種情報等を発信。多言語ページがブログ形式になり、外国人自らによる情報発信を可能にし、情報の多言語化や外国人コミュニティのネットワーク化を図る。また、トップページのバナー広告による収入源としても重視。イベントの参加受付及び登録者へ最新事業案内を送るメールマガジンを発行し、より即時性を持ち、かつ広範囲にわたる情報の提供・受信を行う。ホームページ作成は職員と協会ボランティア「ホームページ作成ボランティア」が対応。(日本語、英語、ハングル、中国語、スペイン語)
	②図書・資料室の運営 (予算=3881千円)	より多くの市民の方々が利用しやすくなるように、既存の公共図書館の運営内容やインターネット時代の流れを反映させ、「図書・資料室」の独自性を持たせて運営。そのために資料等を調べやすく整備し、「特定の分野を調べるなら京都市国際交流会館へ」のイメージをつくる。
	③各種相談関連 ・在住外国人のための法律相談 (予算=961千円) ・行政書士による出入国管理手続き相談 (予算=400千円) ・カウンセリング・デイ (予算=464千円)	法律の専門家による判断を必要とする相談に対処するため、京都弁護士会の協力のもと、個別相談をおこなう。ボランティアによる通訳あり。原則として毎月第1・3土曜日に実施。 出入国管理に関する具体的な手続きについて、京都入管業務行政書士協議会の協力のもと、個別相談をおこなう。ボランティアによる通訳あり。原則として毎月第1・3土曜日に実施。 在住外国人が日本で暮らさる中で抱える諸問題のうち、法律、出入国管理、税金、社会保険・年金・労働問題、メンタルヘルスなど専門家による判断を必要とする相談に対応するため、各相談機関との連携の強化を図り、各専門家を相談員として招き相談会を実施。 年4回開催。相談の場に同席し、サポートを行っているボランティア通訳のための勉強会の実施や、頻出単語集の作成にも取り組み、相談事例に活用できるデータベースの整備を行う。
	・情報サービスコーナーの運営 (予算=64千円)	在住外国人が京都で生活していく上での不便・不満を解消して、より快適な生活を実現するための情報提供。その他、外国人観光客・旅行者への観光・旅行案内、一般市民から寄せられる外国事情・留学等についての各種情報提供も実施。電話・e-mailで対応。職員と協会ボランティア「市民生活アドバイザー」による対応。
	⑤国際交流活動グループ育成支援事業「COSMOS」 (予算=142千円)	在住外国人を対象とした日本文化紹介・支援、外国人による文化紹介等を希望するグループを広い範囲から募集し、その育成と市民レベルの交流を支援。6か月毎の2期制。申請に基づき支援対象グループを決定。運営・経費等を含め、自立したボランティア活動維持の第一歩となるよう場所の提供(会議室、第2・4土曜日)、広報、運営のアドバイス等を行う。

公益財団法人 京都市国際交流協会

<p>⑥ボランティア活動育成事業 (予算=2,967千円)</p>	<p>在住外国人をはじめとした、異なる文化背景を持つ人々との相互交流、相互理解の促進を図ることを目的として様々な交流・支援事業を行う。ボランティア活動に主体的・自主的に関わることが、京都の国際化や共生社会について考えるきっかけとなり、よりよい地域社会の構築につながると考え、ボランティア活動の機会や人材の育成に対するサポートを行う。</p> <p>各ボランティア活動</p> <p>a)ホームステイ b)ホームビジット c)留学生交流ファミリー d)在住外国人向け情報誌「Life in Kyoto」の取材・編集・翻訳 e)市民生活アドバイザー f)在住外国人向け京都1日紹介ツアー「京都案内倶楽部」企画運営 g)多言語バンク(英語以外) h)災害時通訳・翻訳ボランティア i)イベント企画運営 j)市立小中学校日本語ボランティア(後述) k)日本語チューター(日本語クラス運営) l)子育てステーション「ホットチャット」 m)koko Kids</p>
<p>⑦国際交流会館オープンデー (予算=4,166千円)</p>	<p>在住外国人を含む市民が気軽に利用できる場としての京都市国際交流会館の役割と、多文化共生社会の構築を目指す国際交流協会の様々な取組みを紹介する、市民参加型の催し。各種交流イベント、講演会、世界の食や文化の紹介等を行う。11月実施。また、「平和」をテーマに、京都市総合企画局と共催で基調講演・シンポジウム等を開催。</p>
<p>⑧子どものための国際理解教育促進事業 国際理解プログラム 「PICNIK」 (予算=1,713千円)</p>	<p>京都市国際教育・グローバルキッズ研究会、京都市立中学校教育研究会国際理解教育部会、京都大学国際交流センター、京都教育大学、京都市教育委員会の協力のもと、市内小・中学校へ留学生を派遣するプログラム。登録留学生は上記大学を中心に市内大学在学の学生。留学生と触れ合うことを通じて、子どもたちは世界へのつながりを感じ、多文化を理解する力を育むとともに、留学生の社会参加の機会とする。</p>
<p>⑨医療通訳派遣事業 (予算=5,371千円)</p>	<p>「固定型」「派遣型」による医療通訳派遣を実施。派遣先は醍醐の医仁会武田総合病院、京都駅前の康生会武田病院、京都市立病院、京都桂病院の4病院とする。言語は中国語・英語・韓国・朝鮮語の3言語で実施。また、2008年度より病院による経費負担を開始。</p>
<p>⑩コリアンサロン「めあり」 (予算=104千円)</p>	<p>日本と深い関係を持つ朝鮮半島の歴史や文化の紹介、在日韓国・朝鮮人に対する理解の促進を目指す文化事業。通年事業としてハングル塾(入門・初級・中級)を行っている。韓国民団京都府本部、朝鮮総聯京都府本部、当協会の3団体が2003年5月より共同で実施。</p>
<p>⑪外国籍市民行政サービス利用等通訳・相談事業 (予算=4,411千円)</p>	<p>行政サービスの利用や手続き等について、外国籍市民、区役所・支所、事業所および本庁等から、電話による通訳・相談に対応する事業。通訳者は、一定の通訳能力および行政等に関する知識を有するものとし、ローテーションにより対応する。通訳技術および行政窓口業務等に関する研修を実施。英語(火曜日・木曜日)、中国語(水曜日・金曜日)、いずれも9時から17時の間実施。また、京都市保健福祉局の新生児訪問などに対し、要望があれば戸別訪問に通訳者を派遣。</p>
<p>⑫災害時における外国人支援 (予算=703千円)</p>	<p>近畿地区の地域国際化協会が、広域的な災害時に外国人支援協力体制について協定を締結したことに伴い京都地域での日頃からの備えや体制を整える。</p> <p>a.災害ボランティア登録(再掲) b.外国人向け「地震・緊急時行動マニュアル」の配布 c.避難所運営訓練や多言語支援センター設置等の実施 d.京都市総合防災訓練への参加</p>
<p>⑬留学生就職支援事業 (予算=153千円)</p>	<p>留学生は日本での滞在を通じ、わが国の社会・経済に対して幅広い認識を持っており、語学力を含めて優秀な国際的人材として大きな力を有している。また、留学後は、本国に戻り各分野の中心的人材として活躍し、あるいは新たな発展を求めて、世界各国で飛翔する可能性を秘めた人材である。そこで、卒業後の就職支援を実施することが各留学生にとって留学というものの価値・意義を高めることにつながり、また、各企業にとっても企業の活性化、事業活動の国際化につながるなど有意義であると考え実施する。</p> <p>a.「UNIVERSAL CAREER SYMPOSIUM」を12月に実施 b.「UNIVERSAL JOB FAIR & PARTY」を3月に実施</p>

公益財団法人 京都市国際交流協会

<p>⑭張鳳俊奨学基金奨学金支給事業 (予算=3,051千円)</p>	<p>京都で勉学に励むアジア出身の私費留学生の生活を支援するために、故張鳳俊氏の申し出により設立された基金により、運営資金を奨学金として支給。月額5万円 年間5名程度</p>
<p>⑮京都市留学生いきいき人材バンク事業(kokoka留学生ねっと) (予算=1,646千円)</p>	<p>留学生在が持つ高い意欲と様々な知識やスキルに着目し、自ら能力をいかしたい留学生と留学生の能力を活用したい主体(企業、学校、地域など)とが、直接情報交換を行うことができる電子掲示板機能をインターネット上で運営。「留学生情報サイト」として、上述電子掲示板機能のほか留学生向け各種事業情報も掲載している。</p>

25周年記念事業「ヤマザキマリ講演会」

kokoka避難所宿泊訓練

多文化おもしろゼミナール